

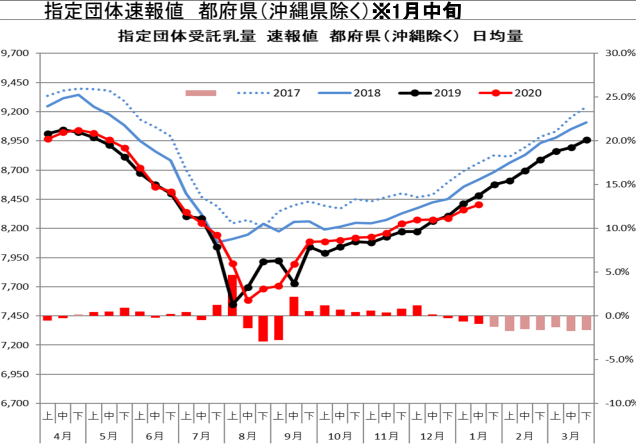
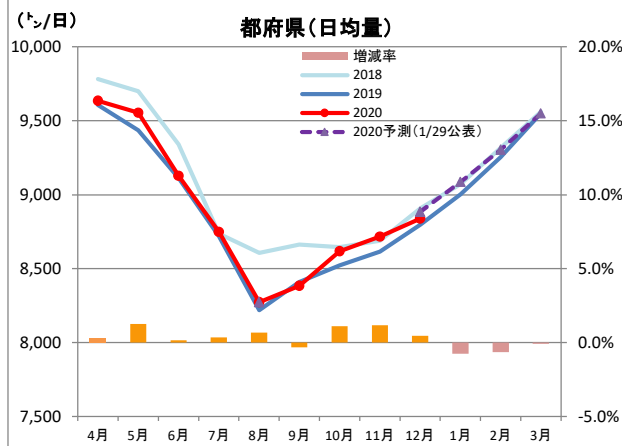
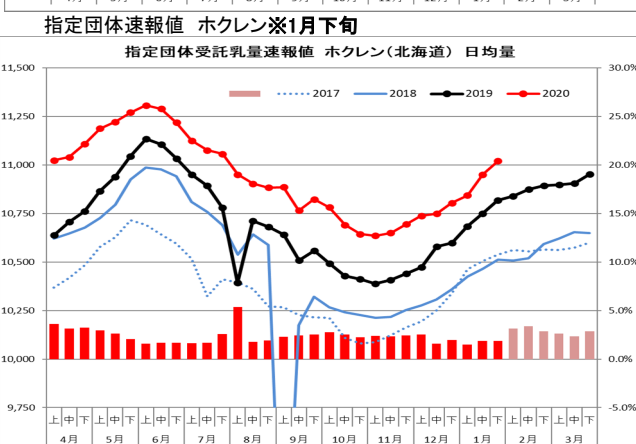
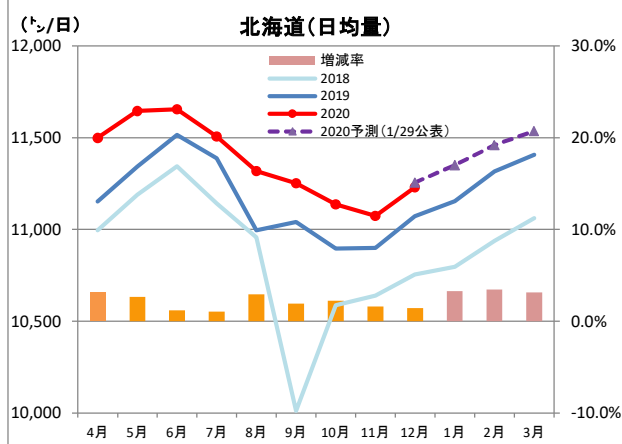
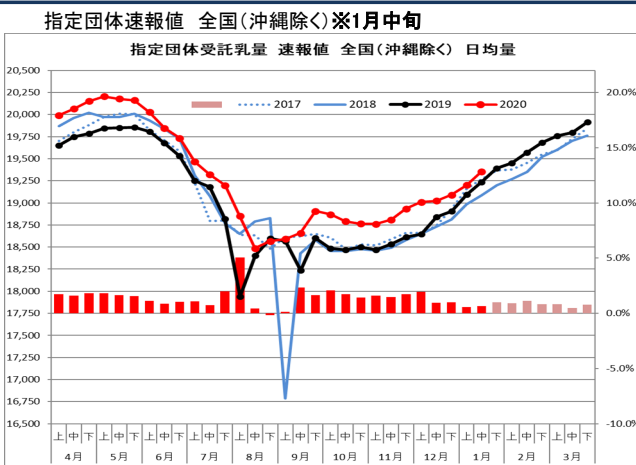
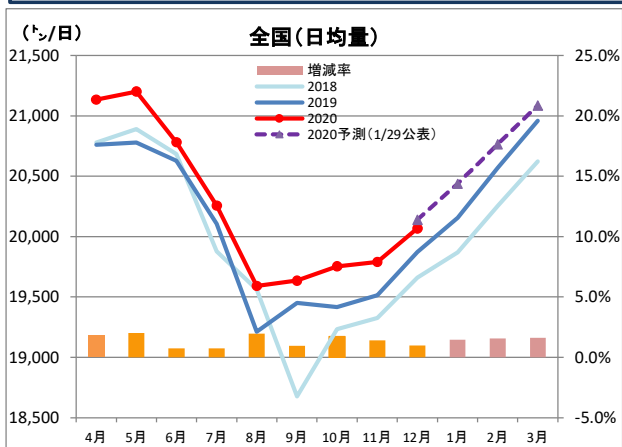
Jミルクが2021年1月29日に公表した「需給見通し(※2020年11月迄実績)」の予測値とその後の実績をグラフ化しています。毎月25日の「牛乳乳製品統計(農林水産省)」の公表に併せて、今後も随時、配信していきます。発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《不透明な点が多い今後の生乳需給～春に向けて需要拡大の取り組み強化を～》

- ・12月の需給実績について、生乳生産は中旬以降の全国的な気温の低下によって伸び率が鈍化した一方、飲用需要については堅調に推移した。また、脱脂粉乳・バター出回り量のうち、脱脂粉乳は、国による飼料用等への活用対策もあり、前年を上回ったが、バターについては引き続き前年を若干下回っている。
- ・直近(2/1週)の牛乳類の消費については、巣ごもり需要もあって堅調に推移している。また、ヨーグルト(大容量タイプ)は伸び率がさらに拡大しているものの、家庭用バターは、約4か月ぶりに前年を下回った。
- ・なお、緊急事態宣言が発令されている10都府県については、宣言が延長されているところであり、業務用需要への影響は続くものと考えられる。一方、家庭内消費については、巣ごもり需要が継続する期待はあるものの、今後の消費動向は不透明な点が多く、引き続き状況を注視してゆく必要がある。
- ・さらに、生乳生産が増加し始める年度末以降は生乳需給が緩和する恐れがあることから、家庭用を中心に需要拡大の取り組みを継続してゆく必要がある。

【生乳生産量】※増減率は、日均量で算出。

- (1) 12月の生乳生産量は、全国622千トン(前年同月比101.0%)、北海道348千トン(同101.4%)、都府県274千トン(同100.5%)。
- (2) Jミルク予測値(全国:624千トン、北海道:349千トン、都府県275千トン)と同程度で推移している。
- (3) 直近の指定団体速報値によると、全国が同100.6%(1月中旬)、北海道が同101.9%(1月下旬)、都府県(沖縄除く)が同99.1%(1月中旬)。



【牛乳等生産量】※増減率は、日均量で算出。

(1)12月の牛乳等生産量は、牛乳258千kl(前年同月比101.4%)、成分調整牛乳22千kl(同98.9%)、加工乳11千kl(同94.8%)、乳飲料81千kl(同100.3%)となり、牛乳類合計では372千kl(同99.5%)となった。

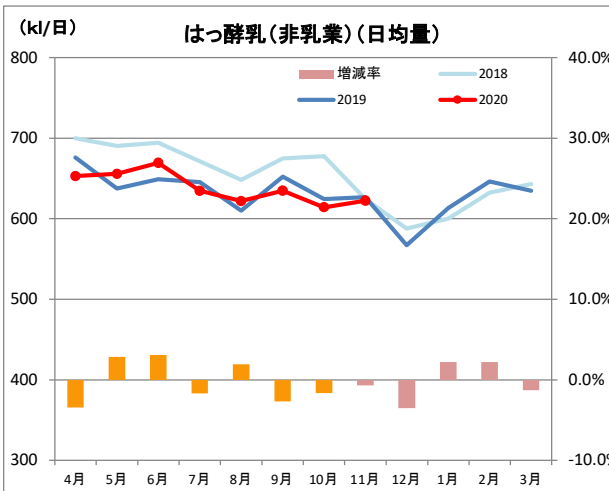
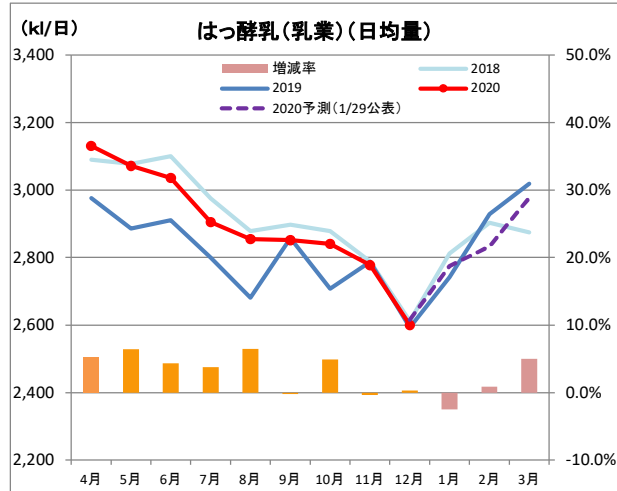
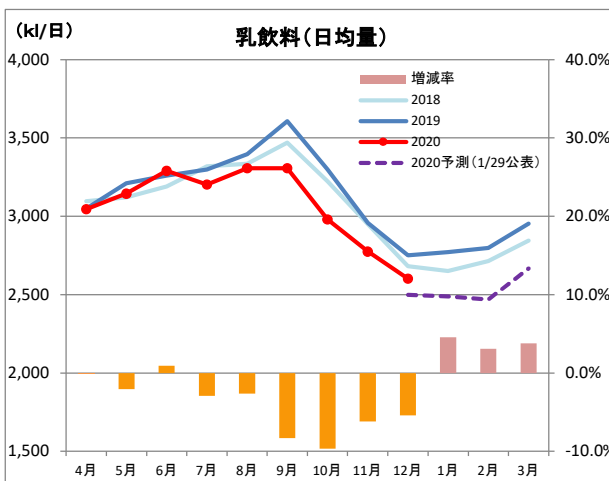
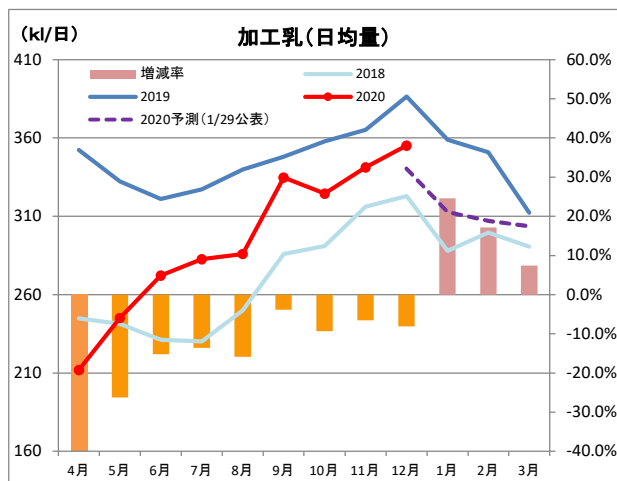
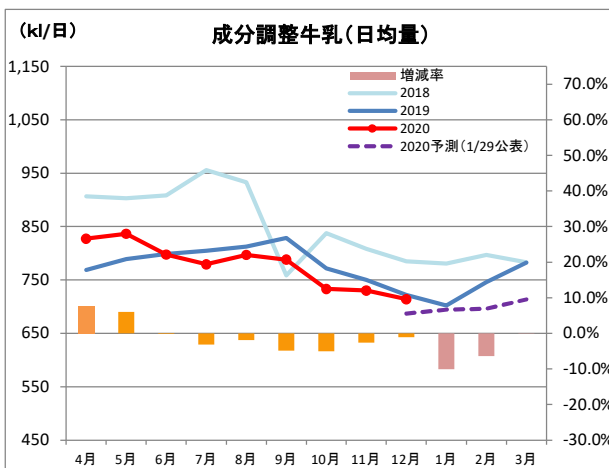
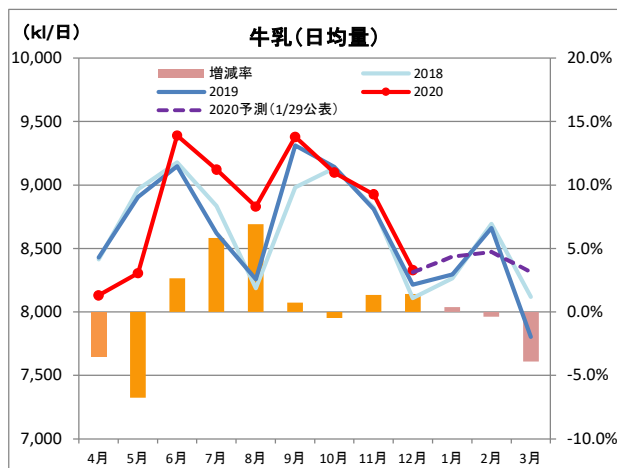
なお、予測値との比較では、成分調整牛乳・加工乳・乳飲料は上振れで推移している。

(2)「牛乳」のうち、「業務用以外」は、同102.9%と前年を上回り、「業務用」は同86.5%と前月から減少幅が大きく拡大した。

(3)はっ酵乳(乳業)は81千kl(同100.3%)と前年と同程度で推移している。非乳業実績(11月)については同99.6%と前年を若干下回った。

なお、はっ酵乳(乳業)は、予測値(81kl)と同程度で推移している。

※はっ酵乳(非乳業)資料：(一社)食品需給研究センター「食品製造業の生産動向」

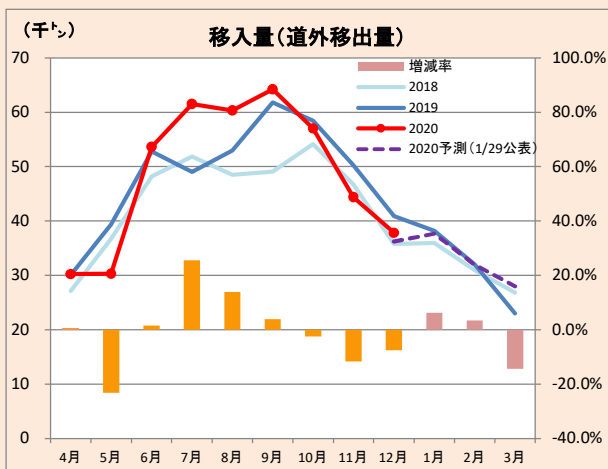
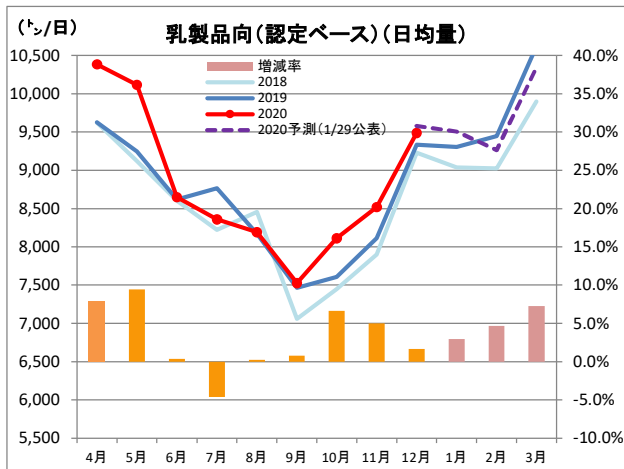
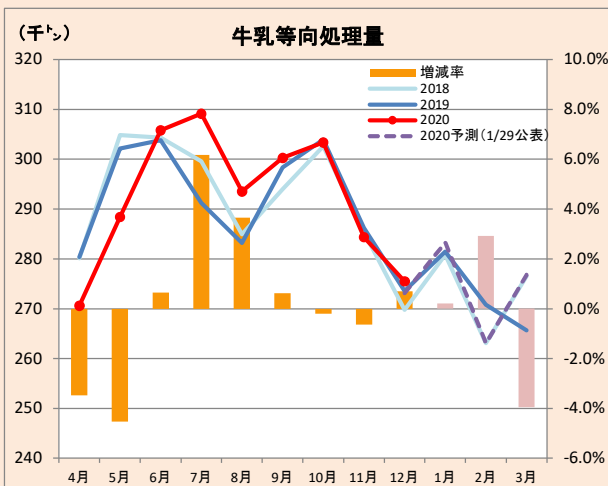
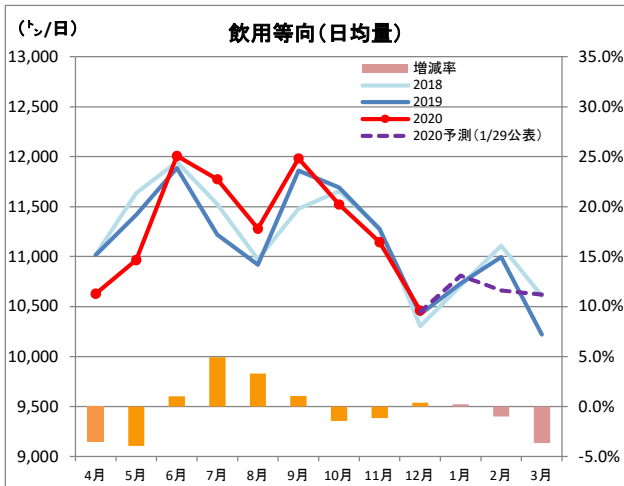
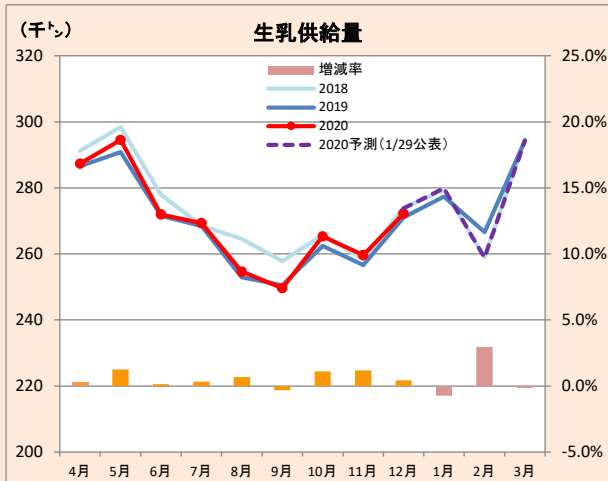
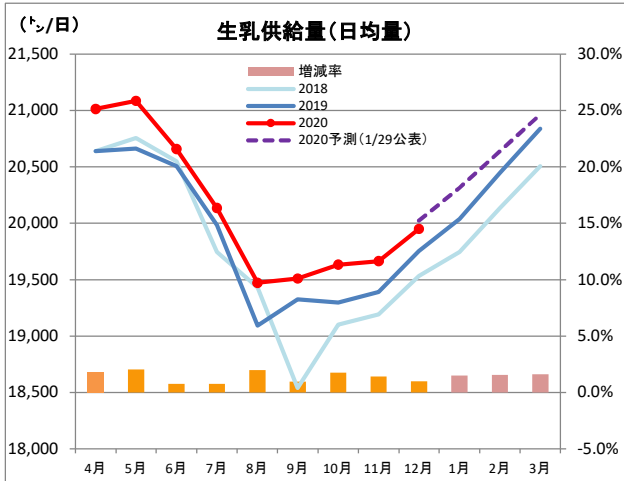


【用途別処理量】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 12月の生乳供給量は618千トン(前年同月比101.0%)、飲用等向324千トン(同100.4%)、乳製品向(認定ベース)294千トン(同101.7%)。
 (2) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:621千トン)、飲用等向(予測値:324千トン)、乳製品向(予測値:297千トン)とも同程度で推移している。

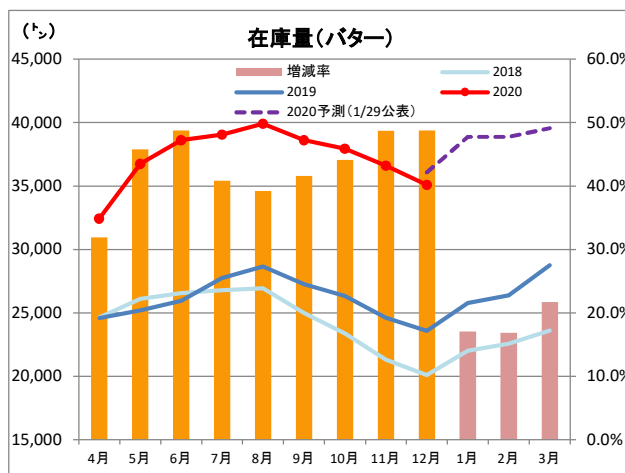
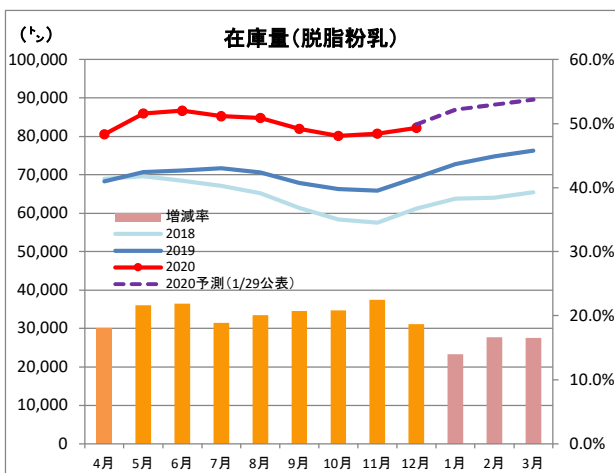
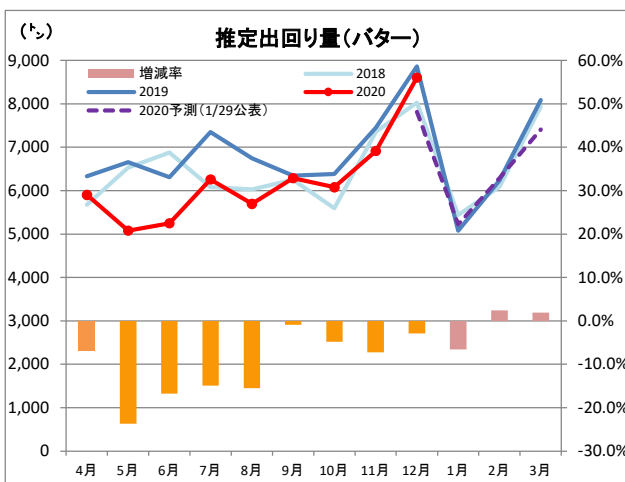
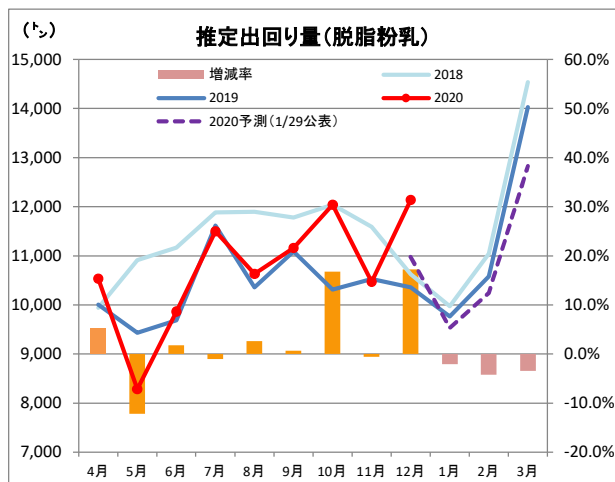
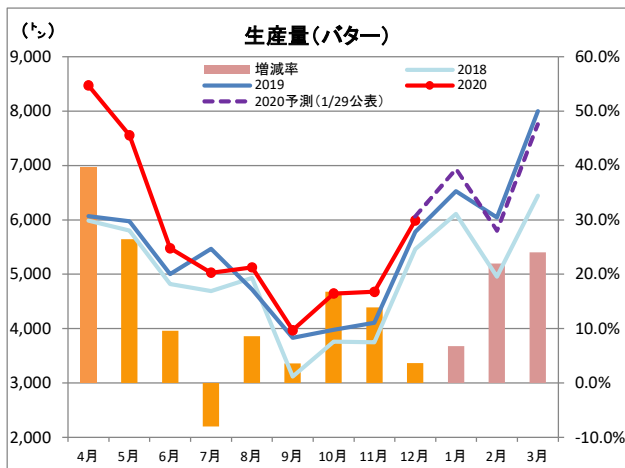
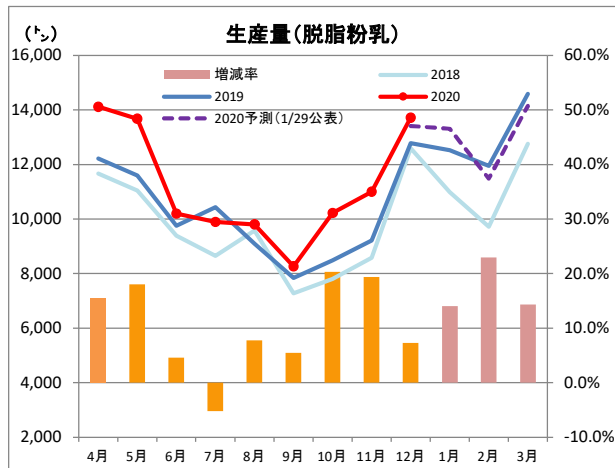
【都府県の生乳需給】 ※増減率は、日均量で算出。

(1) 12月は、生乳供給量272千トン(前年同月比100.4%)、牛乳等向276千トン(同100.7%)。
 (2) 北海道からの移入量について、38千トン(同92.5%)と前年を下回った。
 (3) 予測値との比較では、生乳供給量(予測値:274千トン)、牛乳等向(予測値:273千トン)、北海道からの移入量(予測値:36千トン)とも同程度で推移している。



【脱脂粉乳・バター需給】※増減率は、日量で算出。

- (1) 脱脂粉乳は、12月の生産量は13.7千トン(前年同月比107.3%)、推定出回り量は12.1千トン(同117.2%)、その結果、在庫量は82.3千トン(同118.7%)。推定出回り量(≒需要量)は前年を大きく上回って推移している。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:10.9千トン)は上振れで推移している。
- (2) バターは、12月の生産量は5.9千トン(同103.7%)、推定出回り量は8.6千トン(同97.1%)、その結果、在庫量は35.1千トン(同148.8%)。推定出回り量(≒需要量)は前月から減少幅が縮小したもの、引き続き前年を下回っている。
 なお、予測値との比較では、推定出回り量(予測値:7.8千トン)は上振れで推移している。



【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)1月の動向(表①参照)

・販売個数は、牛乳:前年同月比106.5%、成分調整牛乳:同102.0%、加工乳:同95.8%、乳飲料:同98.8%。

牛乳類では同104.7%と前年を上回った。

・販売単価は、牛乳:189.4円、成分調整牛乳:173.0円、加工乳:188.4円、乳飲料:150.6円。

(2)直近の週次動向(表②・グラフ参照)

・直近(2/1週)の販売個数は、牛乳:前年同期比104.8%、成分調整牛乳:同102.3%、加工乳:同98.1%、乳飲料:同100.6%。

牛乳類では同103.8%と前週(1/25週)と同程度の伸び率で推移している。

・販売単価は、牛乳:189.3円、成分調整牛乳:172.3円、加工乳:188.7円、乳飲料:150.6円。

・成分調整牛乳、乳飲料についても前年を上回った。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 牛乳類の月別販売動向】

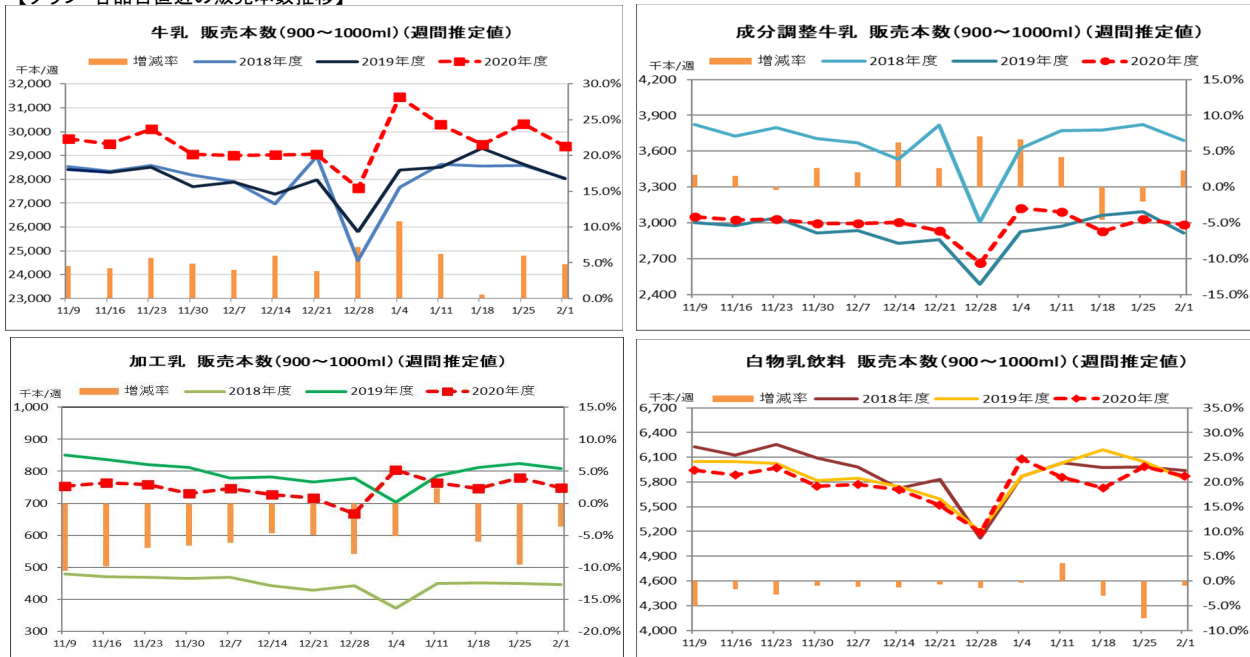
単位:千個/円

品目	区分	2020/4-	2020/5-	2020/6-	2020/7-	2020/8-	2020/9-	2020/10-	2020/11-	2020/12-	2021/1-
トータル	販売個数	191,722	208,652	192,953	192,112	204,849	187,784	179,610	169,957	173,977	171,074
	販売個数前年比	115.0	115.1	107.2	104.0	107.6	99.9	99.9	103.3	104.0	104.7
牛乳	販売個数	143,921	157,322	145,459	144,177	154,671	139,944	135,286	128,122	131,686	129,682
	販売個数前年比	117.2	118.1	109.8	106.1	109.7	101.4	101.8	105.0	105.2	106.5
成分調整牛乳	販売個数	14,954	15,763	14,151	14,204	14,744	14,154	13,587	13,004	13,481	12,875
	販売個数前年比	106.8	105.3	97.1	94.0	97.0	92.0	98.9	100.8	104.1	102.0
加工乳	販売個数	3,760	4,228	3,968	3,938	4,073	3,886	3,483	3,270	3,297	3,275
	販売個数前年比	104.9	100.3	95.3	92.9	97.5	91.0	86.8	92.1	94.5	95.8
乳飲料	販売個数	29,087	31,339	29,375	29,792	31,361	29,800	27,254	25,560	25,513	25,241
	販売個数前年比	110.3	108.5	101.7	101.1	104.7	98.0	93.8	98.1	99.1	98.8
	販売単価	150.2	150.6	150.5	150.4	150.1	150.1	150.4	150.1	150.6	150.6

【表② 牛乳類の販売動向(直近の週次動向)】

品目	区分	11.30-	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-
トータル	販売個数	38,537	38,528	38,454	38,221	36,149	41,466	40,017	38,849	40,134	38,984
	販売個数前年比	103.5	102.8	104.7	102.7	105.8	109.2	104.4	98.6	104.0	103.8
牛乳	販売個数	29,060	29,015	29,017	29,051	27,634	31,460	30,302	29,453	30,336	29,376
	販売個数前年比	104.9	104.0	106.0	103.8	107.2	110.8	106.3	100.5	106.0	104.8
成分調整牛乳	販売個数	2,995	2,993	3,006	2,936	2,662	3,122	3,094	2,926	3,032	2,984
	販売個数前年比	102.7	102.0	106.2	102.6	107.1	106.6	104.2	95.4	98.0	102.3
加工乳	販売個数	731	746	728	717	667	804	764	746	779	749
	販売個数前年比	93.9	95.3	95.0	92.1	94.8	102.4	93.9	90.4	96.5	98.1
乳飲料	販売個数	5,752	5,774	5,703	5,518	5,186	6,081	5,857	5,725	5,987	5,874
	販売個数前年比	98.8	98.7	99.3	98.6	99.7	103.6	97.1	92.4	99.0	100.6
	販売単価	149.9	150.0	150.2	151.1	151.8	150.8	150.9	150.5	150.1	150.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(1)直近の週次動向(表③参照)

直近(2/1週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%未満、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)ドリンクタイプ・個食タイプは引き続き前年を下回って推移している。

【表③ ヨーグルト類の販売動向】

品目	11.30-	12.7-	12.14-	12.21-	12.28-	1.4-	1.11-	1.18-	1.25-	2.1-
ドリンクタイプ	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↓	↘	↘
大容量タイプ	→	→	→	→	↗	→	→	↘	→	→

↓	:前年比90%未満	↘	:前年比105%以上110%未満
↘	:前年比90%以上100%未満	↗	:前年比110%以上120%未満
→	:前年比100%以上105%未満	↑	:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

【家計支出の動向】

(1)牛乳乳製品の支出額について、引き続き前年を上回り、堅調に推移している。

(2)外食支出の減少幅がさらに拡大しているとともに、堅調だった家庭内食支出についても12月は前年を大きく割り込んでいる。

※統計局家計調査(家庭内食は、食料-調理食品-外食で算出)

用途分類	区分	月									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
牛乳乳製品	支出金額	3,523	3,645	3,300	3,286	3,366	3,223	3,142	3,073	3,311	
	前年同月比	117.9%	113.7%	107.7%	105.9%	108.4%	102.8%	101.6%	103.5%	104.2%	
調理食品(中食)	支出金額	9,824	10,306	9,996	10,961	11,258	10,423	10,690	10,682	14,440	
	前年同月比	99.7%	102.0%	103.5%	101.2%	102.5%	102.1%	102.3%	103.4%	106.0%	
外食	支出金額	4,646	5,988	8,184	9,429	10,172	9,975	11,025	11,270	10,360	
	前年同月比	37.3%	44.8%	66.8%	74.3%	72.4%	80.1%	95.4%	87.6%	71.7%	
家庭内食	支出金額	57,906	59,844	55,698	54,685	58,887	55,316	53,999	53,762	50,914	
	前年同月比	113.8%	113.6%	108.5%	107.7%	111.0%	104.7%	103.9%	107.3%	80.7%	

【家畜販売価格動向】

(1)1月の家畜販売価格動向について、ホクレン家畜市場集計によると、初妊牛価格は788千円(前年同期比94.1%)、育成牛価格は462千円(同91.8%)、和牛素牛(去勢)価格は848千円(107.9%)、F1素牛(去勢)価格は481千円(同91.6%)、F1初生(雄)価格は139千円(58.8%)。
 (2)上場頭数(出回り頭数)は、初妊牛:同101.9%、育成牛:同95.3%。また、和牛素牛(去勢):同100.4%、F1初生(雄):同105.7%は、前年を上回ったが、F1素牛(去勢):同97.6%と前年を若干上回った。

※ホクレン家畜市場集計表 速報値 (<https://www.kachiku.hokuren.or.jp/Downloadresult.aspx>)

